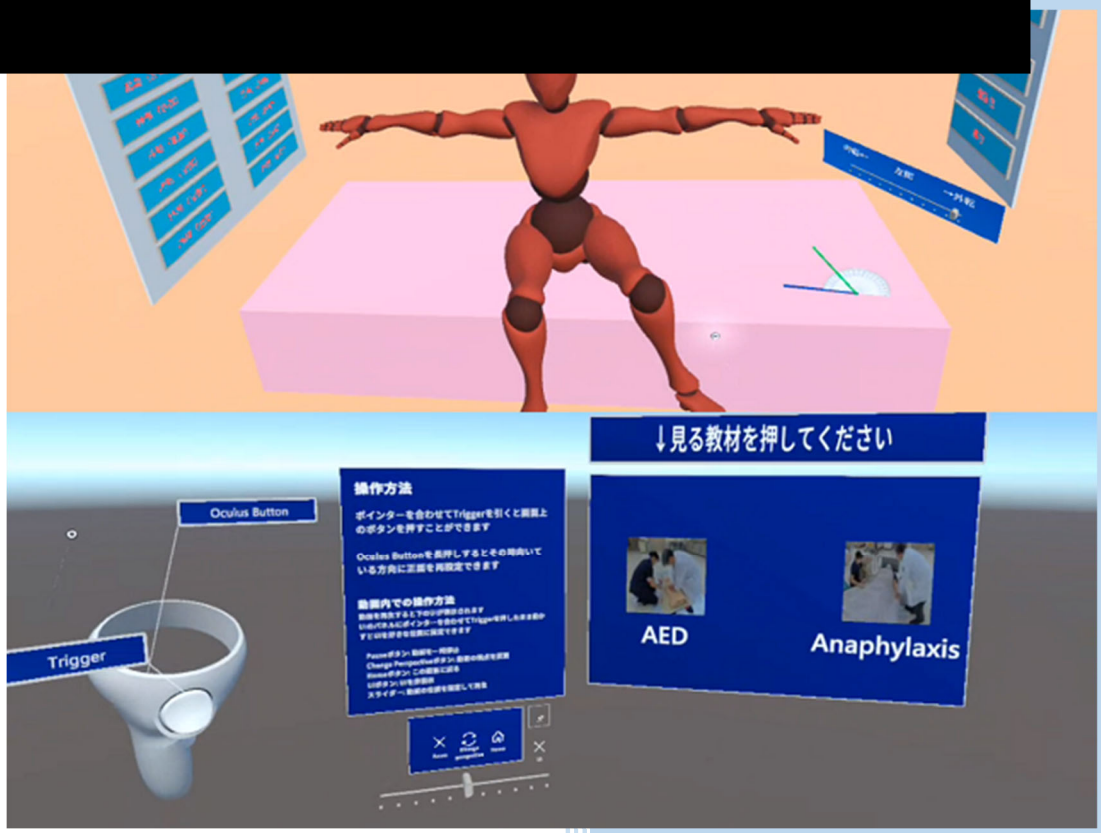
2022 年度

第 25 号

秋田大学情報統括センター広報



Center for Information Technology and Management

Akita University

表紙写真：
2023 年 2 月～3 月にかけて開発した VR 教材の画面（本学教員発案で学生が開発）

目次

巻　頭　言 情報統括センターの 新規導入機材の活用について 1

デジタル活用高度専門人材育成事業に係る貸出機材.....3

災害時における大学会館での キャンパス Wi-Fi の利用について 8

情報統括センター利用状況（令和 4 年度）.....10

令和 4 年度時間割　.....17

庶務日誌　令和 4 年度　.....23

編集後記　.....25

巻　頭　言

情報統括センターの
新規導入機材の活用について

情報統括センター長
水戸部　一孝

総務省の令和 4 年版情報通信白書に依ると、2030 年にはメタバースの世界市場は 6788 億ドルまで拡大すると予想しています。メタバースとはインターネット上の仮想空間のことであり、利用者はアバターを操作して他者と交流するほか、商品購入など仮想通貨を利用した売買も試行されています。また、現実世界を忠実に再現してセンサで取得した情報をリアルタイムに反映させたメタバースはデジタルツインと呼ばれ、自動車組立ラインや海外のプラント管理などで導入が進んでいます。また、HMD の低価格化と普及により VR（Virtual Reality）等の没入型技術が身近となり、本学でも実習系の授業での活用が始まりました。メタバースは文系理系の双方で活用できるデジタル技術であり、3D-CG の商品やサービスを新たに創造する等、アイディア次第で起業も期待できる新たなフロンティアといえます。移動に時間がかかる秋田県にとっても、気軽に世界と繋がりコミュニケーションできる魅力的な技術といえるでしょう。情報統括センターでは、文部科学省の高度専門人材育成事業の支援を得て整備した「最新の VR 開発機材や利用環境」を秋田大学の教職員、学生の皆様に貸出していますので、是非、教育や研究に御活用ください。

次に、入門レベルの数学から専門的な信号処理やデータ解析まで「数理・DS・AI の学習に活用できる MATLAB」の紹介です。秋田大学のメールアドレスを保有している教職員、大学生であれば、自身の PC やクラウド上で 100 種類を超える Toolbox を無制限に利用することができ、強力なデータの可視化機能、数値計算、モデルベースのシミュレーションに加え、Deep Learning や機械学習を利用したり、話題の ChatGPT 等の生成系 AI にアクセスしたりすることも可能です。自学自習用のオンライン教材も提供されていますが、定期的に MATLAB セミナーを開催していますので是非、教育や研究に御活用ください。

最後に情報セキュリティについての御願いです。サイバー犯罪は日々巧妙・高度化しており、リスクは年々上昇しています。大阪の某医療機関におけるランサムウェア攻撃では、電子カルテ等が暗号化された結果、長期間の診療停止による十数億円以上の損失利益に加

え、調査復旧だけで数億円の費用を要しています。身近な例では、メールの添付ファイルを盗み見られたり、USB メモリを紛失したりと情報漏洩リスクは他人事ではありません。そこで、山本文雄学長の強いリーダシップにより、令和 5 年度からクラウドストレージサービスである BOX を全学に導入することになりました。これにより、学内外から容量無制限のストレージにアクセスし、大容量の実験データの保存や共有が容易になると同時に、ランサムウェア等のマルウェアの被害拡大を防止できます。各部局の情報担当者経由で移行を支援いたしますので、御理解と御協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

デジタル活用高度専門人材育成事業に係る貸出機材

情報統括センター　技術専門職員
鷲谷　貴洋

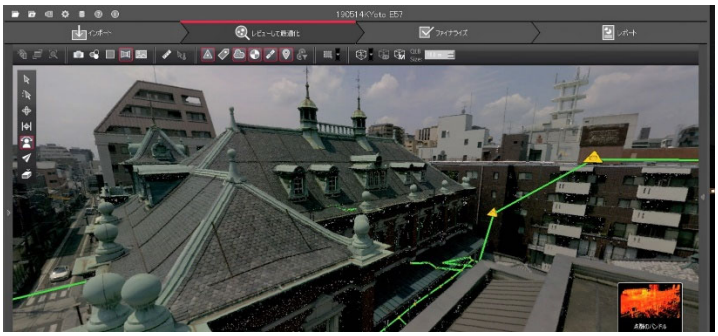
情報統括センターDX 研究開発部門ではデジタル活用高度専門人材育成事業で導入した機材の貸し出しを行っています。DX への取り組みを行う本学教職員・学生を対象に積極的な利用をお待ちしています。ここに利用可能な機器を紹介いたします。

随時貸し出しは AU-CIS（教職員用グループウェア）で申請できます。貸し出しを希望する場合は AU-CIS のホームから「情報セ・A-VIS」→「デジタル活用高度専門人材育成事業　機器利用申請」と進んでください。

1. ３Ｄレーザースキャナ(Leica BLK360)

フルカラーのパノラマ画像を、高精度の点群データに重ね合わせ、周囲のリアリティデータをキャプチャします。

ボタン一つで簡単に操作でき、同種の中で最小クラスの軽い機器です。iPad の操作で、高解像度の 3 次元パノラマ画像で周囲のリアリティデータをキャプチャすることができます。



出来上がった VR コンテンツは、ヘッドマウントディスプレイを通してデジタル空間をバーチャルに体験できます。

2. 360 度 VR カメラ(Insta360 Pro2)

自由自在に動かしながら撮影できる、プロ用 VR カメラです。

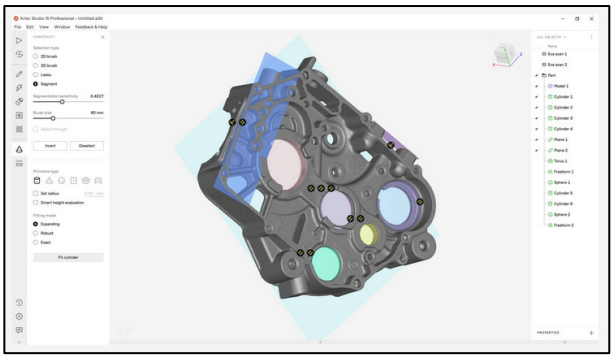
VR ヘッドセットですぐに視聴できる、ダイナミックで安定した 3D 映像を捉えられ、8K3D の動画を手軽に美しく撮影することができ、より美しくより高品位な 360 度 VR 映像を撮影することが可能です。

また、超強力な手振れ補正機能、離れた場所からリアルタイムで VR カメラを制御する機能、 Adobe Premiere Pro とシームレスな連携機能もあります

3. ハンドヘルド 3D スキャナ(Artec Leo for ASL)

スキャンを可能な限り簡単かつ楽にするよう設計された、業界で唯一のワイヤレスで、しかも完全にスタンドアロンのプロ仕様 3D スキャナです。

新しい NVIDIA Jetson TX2 プロセッサを搭載し、5 インチの HD 内蔵ディスプレイとバッテリーを搭載した高速で正確、そして高品質のデータキャプチャを実現する究極の万能 3D スキャナです。



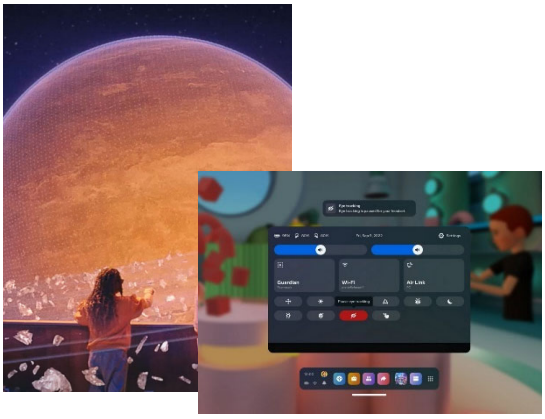
4. MR 用ヘッドマウントディスプレイ(Microsoft Hololens2)

HoloLens（ホロレンズ）は、ユーザーが頭部に装着することで MR（複合現実）を体験することができます。

MR とは、リアルとバーチャルをつなぐ技術で、現実世界と仮想世界をリアルに融合し、空間に情報を取り出して操作したり、遠方にいる人と同空間でコミュニケーションを取る疑似体験ができたりと、フレキシブルなコンテンツを体験することができます。

また、視線やジェスチャー、音声による操作が可能で、キーボード等のデバイスを介さず身体的な操作ができるようになることで、フリーな操作体験ができ、現実世界を生かしたコンテンツを利用することが可能です。

5. VR 用ヘッドマウントディスプレイ(Meta Quest2)



PC やスマートフォンとケーブルで繋いだりすることなくヘッドセット単独だけで動作する一体型のオールインワン VR ヘッドセットです。

ヘッドセットをかぶったまま前後左右自由に動くことができ、VR の中でインタラクションがとれることが特徴です。そのため、本当に自分がバーチャル空間の中にいるかのような強い没入感を体験できます。

重さは 500g ほどで、頭に被っても強い違和感はなく、ゴムバンド部分に「眼鏡スペーサー」をとりつければ、眼鏡をつけたままでも装着可能です。

コントローラは 2 本で、バーチャル空間内で両手の役割をはたしてくれます。

6. Keyence AGILISTA-3200)

3D-CAD にて設計した 3D データ（STL データ）から、立体モデルを造形できるのが 3D プリンタです。3D データを薄くスライスしたデータに変換して、そのスライスデータを積み上げながら造形します。

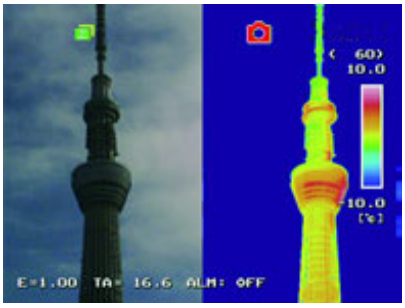
使用できるモデル材（造形材料）は、カートリッジ式で UV 硬化アクリル樹脂とシリコーンゴムです。アクリル樹脂はもっとも一般的な透明樹脂と耐熱樹脂の 2 種類の材料があります。また、シリコーンゴムは低硬度シリコーンゴムと高硬度シリコーンゴムの 2 種類です。

3Dデータ　造形完了　造形モデル完成

7. 熱画像計測解析装置(日本アビオニクス InfReC R550S)

一般的には赤外線カメラ、サーモカメラ、サーマルカメラ等と呼ばれています。

対象物から出ている赤外線放射エネルギーを検出・可視化して、温度測定・温度計測・温度分布の画像表示を行なう装置です。



8. パソコン・ワークステーション

貸出機器に合わせて解析・開発に必要なパソコンやワークステーションをセットで貸し出しています。

(1) XR 用ノートパソコン(Gigabyte AERO 5 KE4-72JP614SP)

OS	Windows 11 Pro
CPU	12th Gen Intel® Core™ i7-12700H(2.3GHz~4.7GHz)、 14 コア/20 スレッド
ビデオグラフィック	Intel® Iris®Xe Graphics NVIDIA® GeForce RTX™ 3060 Laptop GPU 6GB GDDR6 ブーストクロック 1605 MHz 最大 Graphics Power 115W
システムメモリー	16GB 3200MHz 動作
ストレージ	1TB M.2 PCIe Gen4 SSD(1*M.2 NVMe 専用スロット使用)
インターフェイス	3x USB 3.2 Gen1（Type-A）、 1x Thunderbolt™ 4、 1x HDMI 2.1、 1x mini DP 1.4 1x 3.5mm Headphone/Microphone Combo Jack 、 1x フルサイズ UHS-II SD カードリーダー、1x LAN ポート
寸法、重量	357(W) x 254(D) x 23.6(H) mm、 本体のみ 2.3kg
ソフトウェア	Cyclone REGISTER 360（Leica BLK360 用点群データ合成処理ソフトウェア）、Artec Studio（Artec Leo 用 3D スキャンソフトウェア）、Adobe Creative Cloud、Unity、Visual Studio

(2) 教材制作・動作解析用ワークステーション(GDEP Deep Learning BOX II)

OS	Windows10 Pro 64bit、Ubuntsu 20.04 LTS のディアルブート
CPU	インテル Core i9 10940X 14core/28thread 3.3GHz
ビデオグラフィック	NVIDIA RTX A6000 48GB GDDR6 CUDA コア 10752 / Tensor コア 336 / RT コア 84
システムメモリー	128GB (32GBx4) DDR4-3200 Quad-Channel
ストレージ	SSD 960GB（Windows）＋ SSD 960GB（Ubuntsu）
インターフェイス	USB3.1 Gen1 Type-A、 DisplayPort 1.4a、onboard Gigabit Ether
寸法	350(W)×430(D)×510(H) mm
ソフトウェア	Stitcher（Insta360 pro2 用スティッチングソフトウェア）、Adobe Creative Cloud

災害時における大学会館での
キャンパス Wi-Fi の利用について

情報統括センター　技術専門職員
小林　俊央

1. はじめに

令和 5 年 3 月に、情報統括センターから大学会館の間について光ケーブルの新規配線を行いました。令和 2 年度から令和 3 年度にかけて、手形キャンパスの大体育館や小体育館、本道キャンパスの医学部体育館に光ケーブルの新規配線や無線 LAN アクセスポイントの新設を行ってきましたが、令和 4 年度は、災害による停電発生時等でも学生食堂やホールがある大学会館（手形キャンパス）でキャンパス Wi-Fi の利用ができるようにすることを目的に光ケーブルの新規配線を行いました。大学会館は人が集まりやすい場所であり、人が集まりやすい所で、停電発生時等でもキャンパス Wi-Fi の利用ができるようにすることを目的にネットワーク整備を行いました。ここでは、大学会館への光ケーブルの新規配線等、ネットワーク整備の状況について紹介します。

2. 大学会館への光ケーブル新規配線及びネットワークの整備

情報統括センターには非常用発電設備が設置されており、停電時も非常用電源により情報統括センター内に設置しているネットワーク機器は稼働継続するようにしています。災

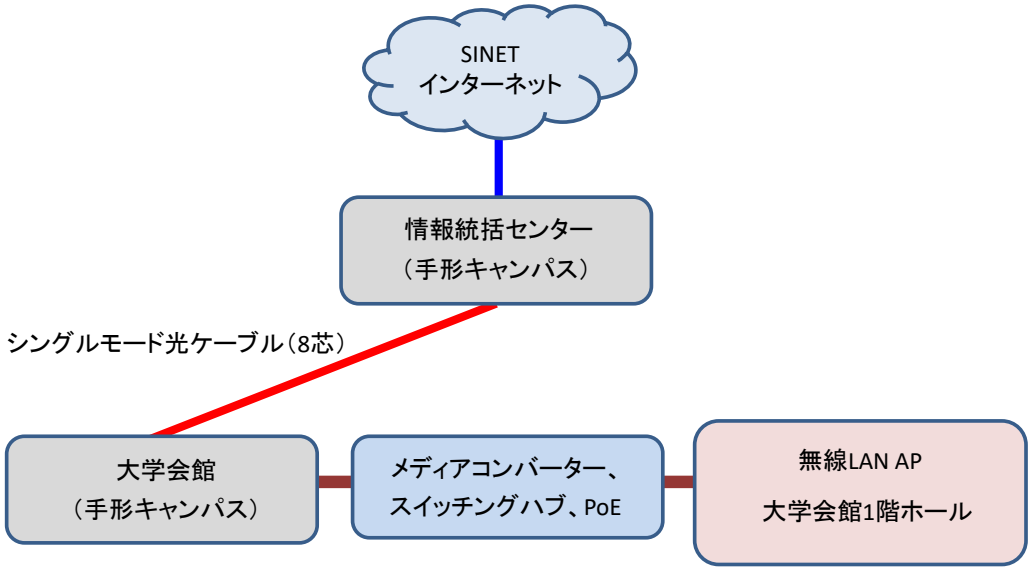


図 1　大学会館光ケーブル配線及び無線 LAN アクセスポイント接続概要図

害による停電発生時等でも大学会館でキャンパス Wi-Fi の利用ができるようにすることを検討して、大学会館に既に設置していた無線 LAN アクセスポイントを直接、情報統括センター内のネットワーク機器に接続することを検討しました。しかし、大学会館のネットワークについては情報統括センターに直接接続ではなく、学内の他の場所に設置している L3 ネットワークスイッチを経由して情報統括センターに接続する構成になっていたため、情報統括センターから大学会館まで新規に光ケーブルを配線することにしました。大学会館では、一部の無線 LAN アクセスポイントを新規に配線した光ケーブル回線の方に接続変更を行いました。また、新規配線の光ケーブル回線に付随するネットワーク機器類に電源を供給する、非常用電源機器を用意しました。このように、停電時でも大学会館の一部の無線 LAN アクセスポイントを起動できるようにして、ネットワーク回線接続先の情報統括センターも停電時は非常用電源によりネットワーク機器は稼働してネットワーク接続は維持され、大学会館において停電時もキャンパス Wi-Fi の利用ができるように整備を行いました。

図 2　非常用発電設備（情報統括センター）

図 3　非常用電源機器（ポータブル電源）

3. 終わりに

このように大学会館への光ケーブルの新規配線を行い、非常用電源機器の準備も行い災害による停電発生時等でも大学会館でキャンパス Wi-Fi の利用ができるようにネットワーク整備を行いました。万が一、災害が発生して停電が発生した場合に、大学会館において学生及び教職員の皆様に、災害情報の確認や連絡等、キャンパス Wi-Fi を利用していただくことができればと思います。

情報統括センター利用状況（令和 4 年度）

1. PC 実習室利用状況

令和 4 年度も引き続きコロナ禍で教室運用が開始しました。4 月は原則遠隔講義との全学方針に従いPC実習室の利用も限定的になりました。5月半ばから対面の授業が開始され6月には席間隔や収容人数の制限がなくなりました。しかし2年以上に及ぶ自粛の影響で、オンライン授業を継続する講義も一定数存在しました。

5 月半ばから自習利用も再開されましたが、自習による利用はコロナ禍以前と比べ大幅に減少しました。利用減少の原因としては、令和 3 年度新入生から PC 必携化となったことやPC実習室内プリンタの運用を廃止したが考えられます。また、長引く自粛によりPC実習室を自習利用したことのない学生が多数を占めるようになったこともPC 実習室離れにつながったと考えられます。

(1) PC 実習室概要

表1は情報統括センターが設置する実習用PCの設置場所及び設置台数（教師卓を除く）です。以前まで存在した PC 実習室 2 とオープンスペースは、今年度から廃止となりました。

建物	実習室名	PC 設置台数	利用形態
情報統括センター	PC 実習室 1	50 台	授業・自習
	PC 実習室 4	20 台	授業・自習
一般教育 2 号館	PC 実習室 A	90 台	授業
	PC 実習室 B	72 台	授業・自習
中央図書館		15 台	授業・自習
医学部実習棟・講義棟	本道 PC 実習室	140 台	授業・自習
医学図書館		5 台	自習

表 1　実習用 PC 設置状況

(2) PC 実習室運用状況（令和 4 年度）

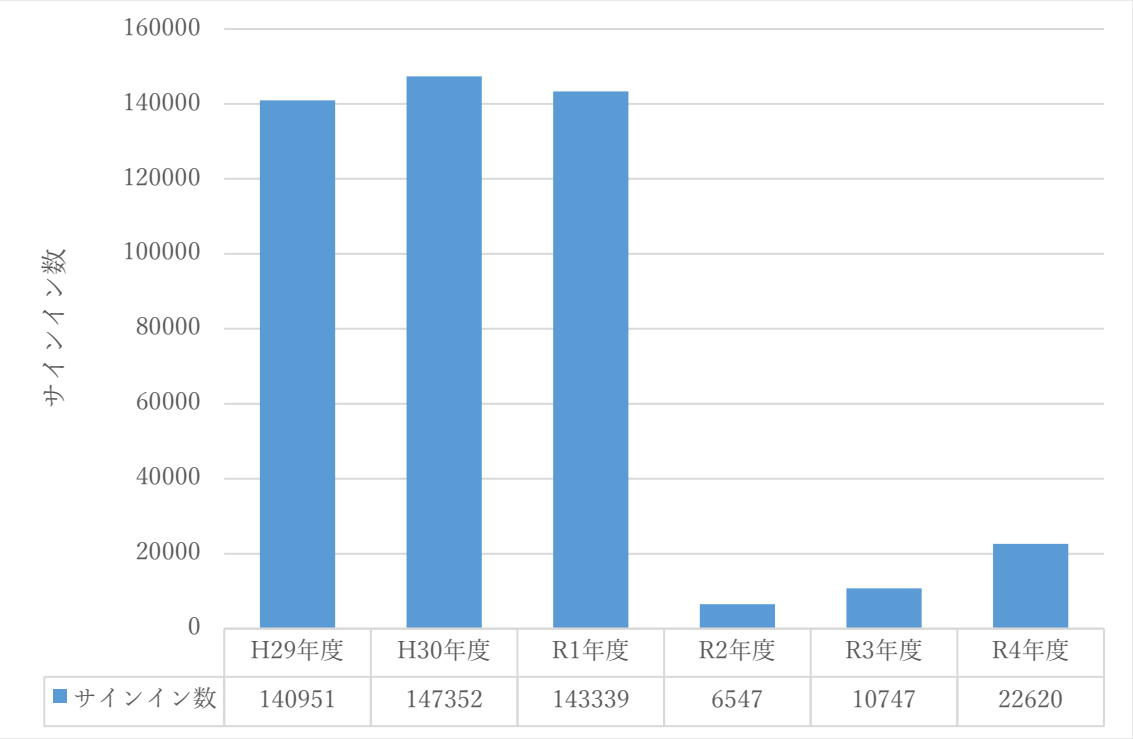
令和 4 年度の PC 実習室運用状況を表 2 にまとめました。前期は昨年から引き続き新型コロナウイルス流行により、制限を設けての運用で開始しました。制限は徐々に緩和されていきましたが、引き続き自己の判断による自粛も多く見られました。

期間	運用方針
4 月 7 日～5 月 16 日	原則遠隔授業
5 月 16 日～5 月 22 日	座席間隔 2m で授業・自習利用
5 月 23 日～6 月 8 日	座席間隔 1m で授業・自習利用
6 月 9 日～	座席間隔 0m で授業・自習利用

表 2　令和 4 年度の PC 実習室運用状況

(3) サインイン数の年度推移

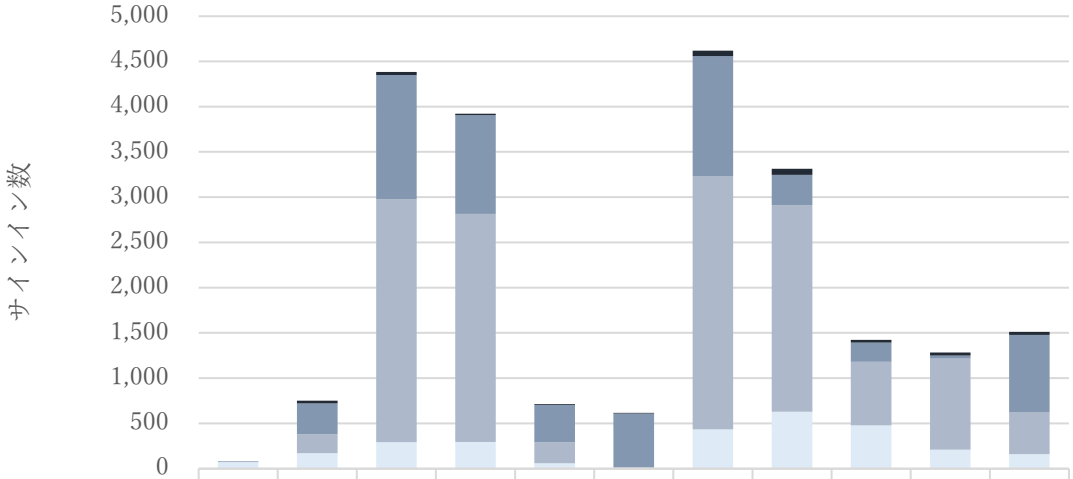
グラフ 1 は、全ての PC 実習室で合計した実習用 PC サインイン数の年度別集計結果です。令和 2 年度にコロナ禍で大きく利用数が減少しました。R4 年度は制限が緩和されてきたため利用数は増加傾向にありますが、コロナウイルス流行以前に比べると大幅に少ない利用数となっています。



グラフ 1　年度別 PC 実習室サインイン数

(4) 令和４年度サインイン数統計

グラフ２は令和４年度のサインイン数を月ごとに集計したグラフです。４月、５月は原則遠隔講義とされていた期間があるため少ない利用数となりますが、対面授業が解禁されてからはある程度の利用がありました。しかし、この数字も以前と比べると大幅に少ないものです。

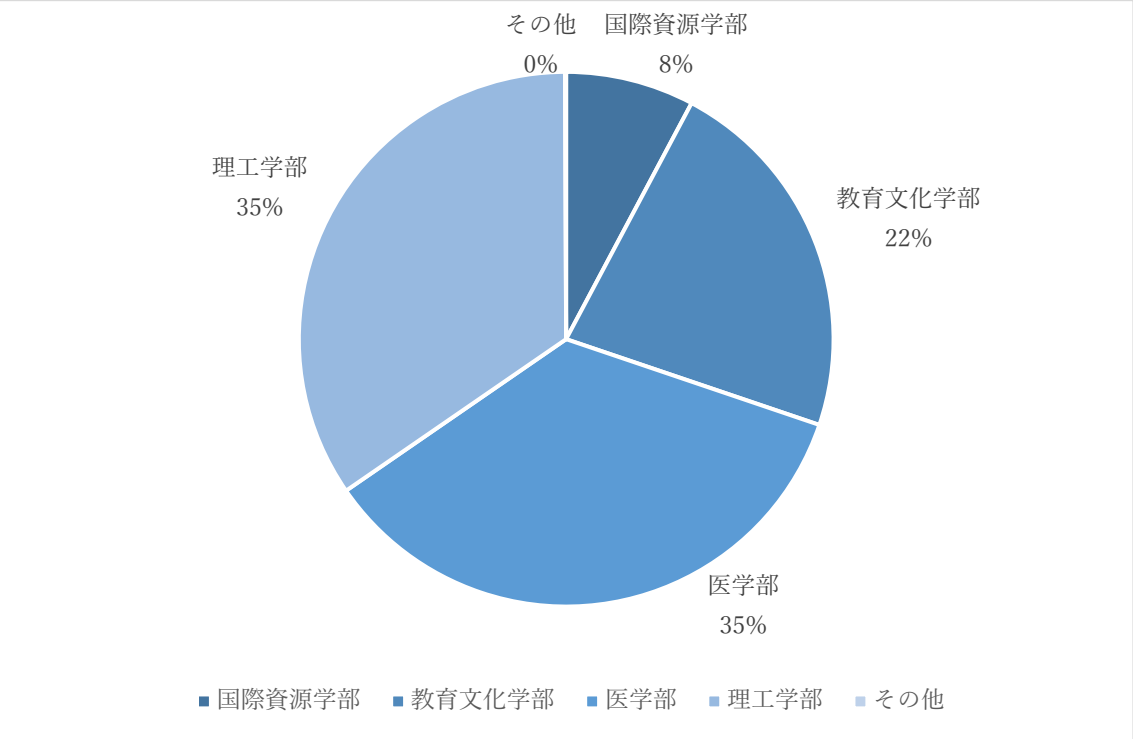


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
図書館		29	35	16	10	6	60	67	31	33	34
本道PC実習室		342	1,374	1,091	413	596	1,326	335	211	34	852
PC実習室A/B	14	209	2,682	2,519	232	6	2,798	2,284	703	1,007	464
PC実習室1	71	170	293	295	59	8	435	628	478	209	161

グラフ２　令和４年度月別サインイン数

(5) 所属別利用者数

グラフ 3 は令和 4 年度利用者の所属学部（研究科）別の割合です。詳細な数値は表 3 に記載します。その他は聴講生や私費留学生などの非正規生です。



グラフ 3　R4 年度所属別サインイン数の割合

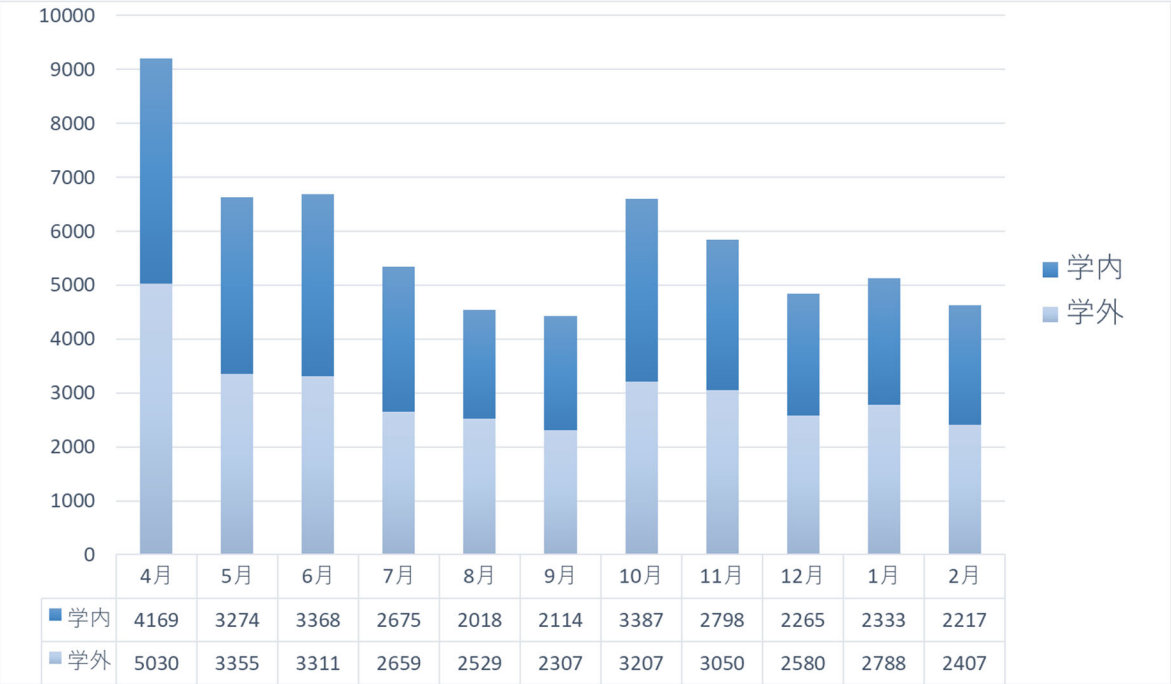
学部＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	計
国際資源学部（国際資源学研究科）	1	23	20	42	5	1	293	387	481	281	224	1758
教育文化学部（教育学研究科）	14	109	1362	1125	4	1	954	661	338	290	216	5074
医学部（医学系研究科）	2	386	1762	1550	579	601	1437	436	243	74	894	7964
理工学部（理工学研究科）	68	232	1239	1203	126	13	1932	1835	351	635	177	7811
その他			1	1			3	1	10			16
計	85	750	4384	3921	714	616	4619	3320	1423	1280	1511	22623

表 3　R4 年度サインイン数（所属・月別）

2. センターWeb サイトのアクセス解析

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 2 月 28 日までの情報統括センターWeb サイト（https://www.gipc.akita-u.ac.jp/）のアクセス解析です。

グラフ 1 は、情報統括センターWeb サイトにアクセスした人数を学内ネットワーク・学外ネットワークに分けて集計したものです。同じデバイス、ブラウザで同じ日に複数回アクセスしても 1 回としてカウントしています。新学期が始まる 4 月、後期授業が開始される 10 月のアクセス数が多くなっていることが分かります。

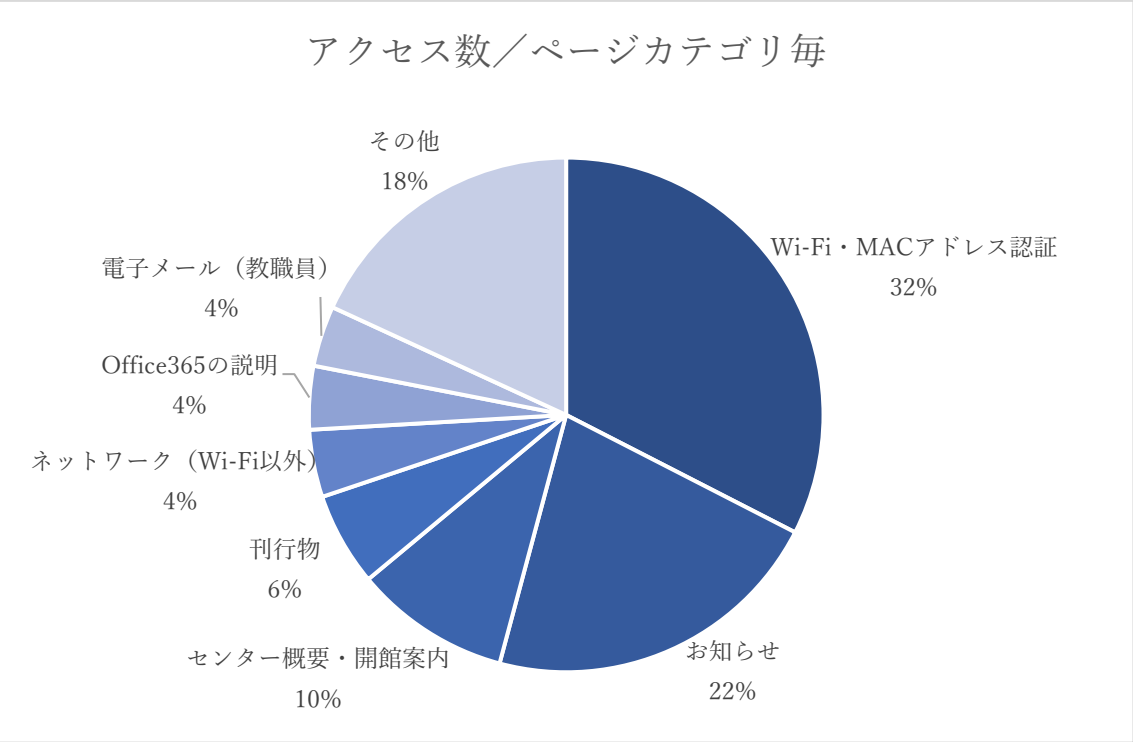


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学内	4169	3274	3368	2675	2018	2114	3387	2798	2265	2333	2217
学外	5030	3355	3311	2659	2529	2307	3207	3050	2580	2788	2407

グラフ 1　月別アクセス者数（令和 4 年度）

グラフ 2 は各ページのアクセス数をカテゴリで分けて合計した割合です。1 回の訪問で同じページを複数回開いても 1 回としてカウントしています。ただし、1 回の訪問で同一カテゴリ内の複数ページを閲覧した場合は閲覧したページ数がカウントされます。また、集計からホームページ（トップページ）、メニューページ、検索結果のページは除外しています。

アクセス数の割合を見ると、Wi-Fi 接続に関連した説明ページが最も多くなっています。R3 年度から学生の PC 必携化を行ったことにより、Wi-Fi 接続の需要が増加傾向にあることが伺えます。



グラフ 2　ページカテゴリ毎のアクセス状況

3. 大判プリンタ利用状況　（2022 年 4 月～2023 年 3 月）

情報統括センターでは大判プリンタを 2 台（EPSON PX-H9000・EPSON SC-T5450）設置し、学会でのポスター作成や講演会での看板等の作成のため、学内教職員（利用負担金支払い責任者が認めたもの）を対象に有料の利用提供を行っています。大判プリンタは、最大 A0 サイズ（841×1189mm）までのカラー印刷をすることができます。

用紙の種類、サイズごとの印刷枚数は以下のとおりです。

	A0	A1	B1	そ の 他	計
普通紙	137	40	8	10	195
フォト紙	58	10	4	9	81
不織布	26		5	1	32
計	221	50	17	20	308

大判プリンタ利用状況（2022 年 4 月～2023 年 3 月）

令和 4 年度時間割

※　この時間割は年初の予定を元にして作成しています。遠隔講義に移行し、実際には PC 実習室で行われなかった授業や PC 実習室から配信のみを行い学生は入室しなかった授業も含まれます。

1. 前期

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
月	1・2 時限 8:50～10:20	「情報処理 A/B」 （片平） 保健学科		「X 線結晶学」 （越後） 資源地球科学コース	「情報処理 A/B」 （片平） 保健学科
	3・4 時限 10:30～12:00	「情報処理工学・コンピュータシステム学」 （佐々木芳） 機械・創造生産工学コース			
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理の技法 C」 （中島） 数理・電気電子情報学科			
	7・8 時限 14:30～16:00	「計算機プログラミング I」 （河村） 電気電子工学コース		【7-9 時限】 「機械工学実習」 （佐々木英） 機械工学コース	【7-9 時限】 「機械実習」 （奥山） 機械工学コース
	9・10 時限 16:10～17:40				
火	1・2 時限 8:50～10:20		「プレゼンテーション技法」 （上田） 地域文化学科		
	3・4 時限 10:30～12:00	「数値計算 I ・ II」 （有川） 数理・電気電子情報学科他			
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理の技法 B」 （松本・長谷川） 物質科学科		「教養ゼミナール 1」 （五十嵐） 全学部	
	7・8 時限 14:30～16:00				
	9・10 時限 16:10～17:40				

<table>
<tr><th>曜日</th><th>時限</th><th>PC 実習室 A</th><th>PC 実習室 B</th><th>PC 実習室 1</th><th>PC 実習室 4</th></tr>
<tr><td rowspan="6">水</td><td>1・2 時限
8:50～10:20</td><td></td><td>「マトリクス構造解析Ⅱ」
（後藤）
土木環境工学コース</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3・4 時限
10:30～12:00</td><td>「情報処理入門 C」
（林良）
地域文化学科</td><td>「情報処理入門 D」
（上田）
地域文化学科</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>5・6 時限
12:50～14:20</td><td colspan="2">「情報処理の技法 D」
（佐々木芳・網田）
システムデザイン工学科</td><td>「大学英語ⅢJ」
（星）
理工学部</td><td>4～6 月「臨床バイオメカニクス」（巌見）
6～8 月「ヘルスケア運動センシング学」（巌見）</td></tr>
<tr><td>7・8 時限
14:30～16:00</td><td rowspan="2">【7-9 時限】
数理科学実験
（新屋）
数理科学コース</td><td>「初年次ゼミ」
（尾高）
生命科学科</td><td>「プログラミング入門演習 B」（佐々木重）
学校教育課程</td><td></td></tr>
<tr><td>9・10 時限
16:10～17:40</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">木</td><td>1・2 時限
8:50～10:20</td><td>「地域統計技法」
（上田）
地域文化学科</td><td></td><td>「情報処理の技法 A」
（疋田）
生命科学科</td><td></td></tr>
<tr><td>3・4 時限
10:30～12:00</td><td colspan="2">4～6 月「情報学入門」（白井）医・教
6～8 月「AI 学入門」（白井）医・教</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>5・6 時限
12:50～14:20</td><td>「情報処理入門 A」
（上田）
学校教育課程</td><td>「情報処理入門 B」
（佐々木重）
学校教育課程</td><td>「X 線結晶学」
（越後）
資源地球科学コース</td><td>「制御工学特論Ⅰ・Ⅱ」
（長縄）
機械工学コース</td></tr>
<tr><td>7・8 時限
14:30～16:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9・10 時限
16:10～17:40</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>曜日</th><th>時限</th><th>PC 実習室 A</th><th>PC 実習室 B</th><th>PC 実習室 1</th><th>PC 実習室 4</th></tr>
<tr><td rowspan="5">金</td><td>1・2 時限
8:50～10:20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3・4 時限
10:30～12:00</td><td colspan="2">「情報処理の技法」
（鳥屋）
国際資源学部</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>5・6 時限
12:50～14:20</td><td></td><td rowspan="3">【5-8 時限】
「資源開発環境
実験学実験Ⅱ」
（高崎・鳥屋）
資源開発環境コース</td><td>「大学英語ⅢJ」
（星）
理工学部</td><td></td></tr>
<tr><td>7・8 時限
14:30～16:00</td><td>「日本語５-Ⅲ」
（平田）
全学部</td><td rowspan="2">【7-9 時限】
「機械工学実験
（python）」
（関）
機械工学コース</td><td rowspan="2">【7-9 時限】
「機械工学実験」
（長縄・髙橋護）
機械工学コース</td></tr>
<tr><td>9・10 時限
16:10～17:40</td><td></td><td></td></tr>
</table>

2. 後期

<table>
<tr><th>曜日</th><th>時限</th><th>PC 実習室 A</th><th>PC 実習室 B</th><th>PC 実習室 1</th><th>PC 実習室 4</th></tr>
<tr><td rowspan="5">月</td><td>1・2 時限
8:50～10:20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3・4 時限
10:30～12:00</td><td></td><td></td><td></td><td>「プログラミング
入門演習 A」（佐々木重）
地域文化学科</td></tr>
<tr><td>5・6 時限
12:50～14:20</td><td colspan="2">10～11 月「基礎情報学 B」（LUMIN）
12～2 月「基礎 AI 学 B」（新屋）</td><td rowspan="2">【5-8 時限】「計算
機プログラミング」
（サイード）
資源開発環境コース</td><td></td></tr>
<tr><td>7・8 時限
14:30～16:00</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9・10 時限
16:10～17:40</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>曜日</th><th>時限</th><th>PC 実習室 A</th><th>PC 実習室 B</th><th>PC 実習室 1</th><th>PC 実習室 4</th></tr>
<tr><td rowspan="5">火</td><td>1・2 時限
8:50～10:20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3・4 時限
10:30～12:00</td><td colspan="2">「計算機プログラミングⅡ」（室賀）
電気電子工学コース</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>5・6 時限
12:50～14:20</td><td colspan="2">10～11 月「基礎情報学 A」（LUMIN）
12～2 月「基礎 AI 学 A」（新屋）</td><td rowspan="2">【5-8 時限】
「応用化学実験Ⅳ」
（大川・加藤）
応用化学コース</td><td>「材料理工学実験Ⅰ」
（肖）
材料理工学コース</td></tr>
<tr><td>7・8 時限
14:30～16:00</td><td></td><td>「情報教育実践論
IA・IB」（細川）
学校教育課程</td><td></td></tr>
<tr><td>9・10 時限
16:10～17:40</td><td colspan="2">9～11 月「基礎情報学」（白井）
11～2 月「基礎 AI 学」（白井）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">水</td><td>1・2 時限
8:50～10:20</td><td colspan="2">「Java and Mobile Application
Programming」（鄒敏）
人間情報工学コース</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3・4 時限
10:30～12:00</td><td colspan="2">「地域統計学基礎 A」
（佐々木重）
地域文化学科</td><td>「地域統計学基礎 B」
（林良）
地域文化学科</td><td></td></tr>
<tr><td>5・6 時限
12:50～14:20</td><td></td><td rowspan="2">【5-8 時限】
「資源開発環境
実験学実験Ⅱ」
（高崎・鳥屋）
資源開発環境コース</td><td rowspan="2">【5-8 時限】
「応用化学実験Ⅳ」
（大川・加藤）
応用化学コース</td><td>「材料理工学実験Ⅰ」
（肖）
材料理工学コース</td></tr>
<tr><td>7・8 時限
14:30～16:00</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9・10 時限
16:10～17:40</td><td>「情報・AI 質問教室」
（新屋）
理工学部</td><td>「基礎情報学 ABC
オフィスアワー」
（LUMIN）理工学部</td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>曜日</th><th>時限</th><th>PC 実習室 A</th><th>PC 実習室 B</th><th>PC 実習室 1</th><th>PC 実習室 4</th></tr>
<tr><td rowspan="5">木</td><td>1・2 時限
8:50～10:20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3・4 時限
10:30～12:00</td><td>「コンピューター
シミュレーション入門」
（上田）全学部</td><td></td><td></td><td>「プログラミング
入門 A」（佐々木重）
地域文化学科</td></tr>
<tr><td>5・6 時限
12:50～14:20</td><td></td><td></td><td>「ファイナンス」
（安達）
資源政策コース</td><td></td></tr>
<tr><td>7・8 時限
14:30～16:00</td><td colspan="2">10～11 月「基礎情報学 C」（LUMIN）
12～2 月「基礎 AI 学 C」（新屋）</td><td></td><td>「古環境復元データ
解析」
（オブラクタ）
資源地球科学コース</td></tr>
<tr><td>9・10 時限
16:10～17:40</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">金</td><td>1・2 時限
8:50～10:20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3・4 時限
10:30～12:00</td><td colspan="2">「基礎統計学Ⅰ・Ⅱ」
（小田）
国際資源学部</td><td>10～11 月「生体運
動計測学」（巌見）
12～2 月「ファイナ
ンス」（安達）</td><td></td></tr>
<tr><td>5・6 時限
12:50～14:20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>7・8 時限
14:30～16:00</td><td colspan="2">9～11 月
「基礎情報学」（鄒敏）
国際資源学部</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9・10 時限
16:10～17:40</td><td colspan="2">11～2 月
「基礎 AI 学」（白井）
国際資源学部</td><td></td><td></td></tr>
</table>

3. 令和 4 年度本道 PC 実習室

授業科目名	開設日・時間等	受講学生の 所属・学年
情報処理 A	4～8 月　　火 1･2 時限	医学科：1 年
情報処理 B	4～8 月　　火 3･4 時限	医学科：1 年
組織学・組織学実習	4/21,28,5/12,5/19,5/26,6/16,6/23, 6/30,7/14	医学科：2 年
病理学実習	9/15,16,29,10/6,13,14,21,27,28	医学科：2 年
衛生学・公衆衛生学	11/28～12/1	医学科：2 年
医療情報学	12/12～16	医学科：2 年

4. 令和 4 年度随時利用回数

PC 実習室名	前期	後期	計
PC 実習室 1	2	9	11
PC 実習室 4	0	6	6
PC 実習室 A	3	1	4
PC 実習室 B	2	5	7
本道 PC 実習室	31	23	54
計	38	44	82

庶務日誌　令和 4 年度

R4 年 4 月 7 日	授業開始（～4/22 まで原則遠隔授業）
4 月 14 日	センター施設見学→講義のみ（教育文化学部）
4 月 14 日	4/25～5/15 まで原則遠隔授業継続
4 月 19 日	情報系新棟工事開始
4 月 21 日	MATLAB 説明会（理工学部）
4 月 27～28 日	TOPIC 総会幹事会・講演会（オンライン）
4 月 28 日	センター施設見学→講義のみ（教育文化学部英語教育コース 10 名・PC 実習室 1）
5 月 12 日	5/16 以降は離席距離 2m 間隔での対面授業可
5 月 12 日	ネットワークシステム運用定例会（オンライン）
5 月 18 日	非常用発電機仕様策定委員会
5 月 19 日	5/23 以降は離席距離 1m 間隔での対面授業可
5 月 19 日	PC 実習室 1・本道 PC 実習室の自習開放再開（座席距離 2m 間隔）（5/23 以降は座席距離 1m 間隔で利用可）
5 月 20 日	情報基盤システム仕様策定委員会（オンライン）
5 月 20 日	情報基盤システム定例会
5 月 28 日	作業停電（教育文化側・センター停電無し）
6 月 8 日	6/9 以降は離席距離 0m での対面授業可（対面授業の最大収容人数は 150 名まで）
6 月 30 日	NIPC 国立大学法人情報系センター協議会（オンライン）
7 月 14 日	ネットワークシステム運用定例会（オンライン）
7 月 15 日	情報基盤システム定例会（対面+オンライン）
7 月 16 日	高大連携授業（カレッジプラザ：専任教員・技術職員）
7 月 20 日	TOPIC 幹事会（オンライン）
7 月 22 日	MATLAB 入門セミナー（オンライン）
7 月 30 日	オープンキャンパス（対面・PC 実習室 AB 施設見学として開放）
8 月 10 日	夏季休業開始（～10 月 2 日（月）まで）
8 月 18 日	文部科学省セキュリティセミナー（オンライン）
8 月 19 日	MATLAB セミナー（医学部教職員向け・オンライン）
8 月 31 日	セキュリティ関連の講話
9 月 16 日	情報基盤システム定例会
9 月 20～21 日	学術情報処理研究集会（オンライン：専任教員）
9 月 21～22 日	情報処理センター等担当者技術研究会（オンライン：技術職員）
9 月 30 日	在校生ガイダンス
10 月 3 日	後期授業開始

10 月 5～6 日	TOPIC 秋の研修会（オンライン：専任教員）
10 月 7 日	10/11 以降は座席間隔の指定は行わず （対面授業の最大収容人数 150 名までの制限も廃止）
10 月 11～14 日	令和 4 年度国立大学法人等情報化要員研修（オンライン：技術職員）
10 月 13 日	ネットワークシステム運用定例会
10 月 15 日	秋田大学祭
10 月 25 日	総合防災訓練
11 月 9 日	MATLAB セミナー（14:00～技術相談、16:10～セミナー）（対面・オンライン）
11 月 10 日	情報基盤システム定例会
11 月 17～18 日	情報化要員研修（オンライン：技術職員）
11 月 22 日	北海道・東北地区情報処理センター等技術担当者情報交換会（オンライン：技術職員）
12 月 6～8 日	ペネトレーションテスト
12 月 10～11 日	VR/MR アプリ開発セミナー
12 月 24 日	冬季休業（～1/5 まで）
令和 5 年	
1 月 12～13 日	共通テスト準備、授業無し
1 月 13 日	情報基盤システム定例会
1 月 14～15 日	共通テスト
1 月 19 日	ネットワークシステム定例会
1 月 19 日	情報セキュリティーセミナー　受講期日
1 月 21 日	VR 動画制作セミナー
1 月 22 日	VR 空間制作セミナー
1 月 28～29 日	共通テスト追試・再試
2 月 7 日	TOPIC 幹事会（オンライン）
2 月 16 日	TOPIC 幹事会（オンライン）
2 月 17 日	春季休業（～4/3 まで）
2 月 20 日	VR/MR 教材開発（～3/10 まで）
2 月 21 日	附属学校園情報化推進委員会（オンライン：専任教員）
2 月 25～26 日	前期日程試験
3 月 1 日	MATLAB-GPU システム説明会
3 月 10 日	DX プロジェクト成果発表（大学会館 2 階）
3 月 12 日	後期日程試験
3 月 17 日	情報基盤システム定例会
3 月 22 日	ペネトレーションテスト説明会
3 月 23 日	卒業式

● 編集後記 ●

2022 年度も引き続き新型コロナの影響を大きく受け、さまざまな制約がある中での活動となりましたが、情報統括センターでは大学の教育用計算機の運用と大学のネットワーク全体の運用を行い、オンライン授業や研究活動が滞りなく進むよう、スタッフ一同努めてまいりました。

さて、本年度も情報統括センターでは多くの取り組みを行ってきました。１つはセキュリティ対策強化であり、昨今の脅威に対して、より高度な技術や対策の強化が必要不可欠です。セキュリティセミナーの実施やファイアーウォールの運用、クラウドストレージの導入などを行いました。

また、本稿の記事にもありますように「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業ＤＸをけん引する高度専門人材育成事業」が採択され、最新の XR 開発環境の整備について支援を行い、今後、研究・教育で大いに活用されることと思います。

教育用システムの運用においても、利用者のニーズに応えるべく、科学技術計算言語 MATLAB の包括ライセンス化など、新たなソフトウェアやツールの導入を進めています。また、センター内のシステムも、利用者の利便性向上のために改良を続けています。

2023 年度は総合研究棟（情報教育系）（仮称）に情報統括センターの機能を移転する予定です。今後もより多くの方々に快適なサービスを提供できるよう、取り組みを続けてまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

情報統括センター　専任教員
横山　洋之

秋田大学情報統括センター広報 25 号

2023 年 4 月 30 日発行

編集者　秋田大学情報統括センター

発行者　秋田大学情報統括センター

〒010-8502　秋田市手形学園町 1-1

電話　018-889-2499（ダイヤルイン）

FAX　018-889-3381

E-mail　gipc@gipc.akita-u.ac.jp

URL　https://www.gipc.akita-u.ac.jp

秋田大学
Akita University

秋田大学情報統括センター広報 25 号

2023 年 3 月 31 日発行

編集者　秋田大学情報統括センター

発行者　秋田大学情報統括センター

〒010-8502　秋田市手形学園町 1-1
電話　018-889-2499（ダイヤルイン）
FAX　018-889-3381
E-mail　gipc@gipc.akita-u.ac.jp
URL　https://www.gipc.akita-u.ac.jp